

通信設備（電話）

●電話設備の特徴

オンプレミスP B X、クラウドP B X、アナログP B Xを比較検討します。

		オンプレミスP B X	クラウドP B X	アナログP B X（従来の電話方式）
特徴	交換機（P B X）	庁舎内に設置する	庁舎内に設置しない	庁舎内に設置する
	通信方式	I Pデジタル回線	I Pデジタル回線	アナログ回線
	モバイル端末	スマートフォン、構内P H Sの使用可能	スマートフォン、構内P H Sの使用可能	構内P H Sの使用可能

●電話設備の比較検討

		オンプレミスP B X	クラウドP B X	アナログP B X（従来の電話方式）
検討項目	音声品質	○ 良好な音声品質が確保可能	△ 音声品質は他形式より劣る	○ 良好な音声品質が確保可能
	通話機能	○ 標準仕様で通話録音、自動音声応答等の機能が使用可能	△ 機能の追加には追加費用が発生	○ 標準仕様で通話録音、自動音声応答等の機能が使用可能
	モバイル端末	△ 変換器を必要とするが音声品質は安定する	○ スマートフォンにアプリをインストールすれば使用可能	× スマートフォンが接続できない
	内線番号変更	○ 職員で対応可能となり変更は容易	○ 職員で対応可能となり変更は容易	△ 業者対応が必須となり変更は困難
	セキュリティリスク	○ 外部からの攻撃リスクは低い	△ 外部からの攻撃リスクが懸念される	○ 外部からの攻撃リスクは低い
	セキュリティ対策	○ 多数の選択肢がある	△ 各プロバイダーのセキュリティ対策に依存する	△ 選択肢が少ない
	B C P	△ 停電対応電話機を設置することで通話可能	× 停電時は通話不可	○ 停電時でも通話可能
	冗長化	○ 庁舎内の機器で2重化することができる	△ 機能の追加には追加費用が発生	○ 庁舎内の機器で2重化することができる
	初期費用	× 機器購入費、配線工事が必要 62百万円（概算）	○ 機器購入費、配線工事が不要 3.6百万円（概算）	△ オンプレミスP B Xよりは安価となる 48百万円（概算）
	維持管理コスト	○ P B Xのメンテナンス費用 140千円/年（概算）	△ システムの使用料が毎年発生する 450千円/年（概算）	× 内線番号変更、P B Xのメンテナンス費用 2,760千円/年